

Fukushima NOW

Vo.5 (2017年11月発行)

【日本語／にほんご】
Vo.5 (2017年11月発行)

(公財) 福島県国際交流協会では、震災からの復興に向けた取り組みや国際交流・協力団体の活動、外国出身県民の声など、福島県の「今」を多言語にてお伝えしています。

※本紙の翻訳版は、当協会HPからダウンロードできます。



Voices from Fukushima

日本の研究機関の就職を目指して

ファン ヴァン タインさん

(ベトナム出身・会津若松市在住)



会津大学院で光通信の研究をしています。交換留学で学部生3年生の時に来日しました。学部生2年、院生2年、ドクターコースで2年目なので、来日して6年になります。日本語は、ベトナムにいるときから勉強をしており、2011年9月に大学から「来

年4月から会津大学に編入学が決まった」と言われ福島に来ました。留学の話を引き受ける前には会津大学のベトナム人教授と連絡を取りながら、原発事故による放射線の影響について福島県の情報収集をしました。当時、ベトナムでは福島の原発事故のニュースが連日報道されていました。心配した両親は、留学に反対していましたがこちらの教授に直接相談をした結果、最終的には認めてくれました。毎日、朝から夜の10時頃まで研究をしています。アシスタントティチャーとして、週一回、授業の手伝いもしています。週末は、留学生同士でバレーボールやサッカーを楽しんでいます。将来的には、日本語検定1級を取って日本の研究機関に就職したいです。今も会津若松市国際交流協会の日本語教室に通って勉強しています。会津には桜、紅葉、雪と、ベトナムにはない自然の美しさがあり、自分が住んでいるうちに両親にも見せたいと思っています。みなさんには「福島で僕もみんなも元気にしているし、普通に暮らしている」ということを伝えたいです。

登山で満喫する福島其自然

ジェニファー ビショップさん

(アメリカ出身・伊達市在住)

平成29年2月から伊達市の国際交流員として活動をしています。4年前にALT(英語指導助手)として来日しました。高校生のときに日本語を勉強して、日本語の響きや、婉曲な表現に魅力を感じ、日本に興味を持ちました。クラスメートの90%が外国人という環境に



いたこともあり、自分も外国に住んでみたいと思いました。原発のことはニュースで知っていましたが、測定値などをみて、ここは大丈夫だと判断しました。福島は山がとても美しいです。登山が好きで、仕事でも外国人を霊山に案内しました。これまで県内30箇所の山を登っています。好きな山は、霊山と女神山です。来年は飯豊山に行きたいです。日本語は、本やドラマを見て勉強しています。今は特に「深夜食堂」というドラマが好きでいつも見えています。仕事で地元の人達



▲外国人向け霊山登山ツアーの様子

と触れ合うのが楽しいです。保育園や幼稚園の子供たちとは「キラキラ星」を歌ったりして英語を教えています。幼い頃に外国語に触れるのはよい体験になると思います。子供たちの笑顔を見るのも楽しみの一つです。

Scenes of Fukushima

ザ・まつり in 飯坂

10月7日、外国出身者の方々が神輿を担ぐ、飯坂ロータリークラブ主催「第27回 ザ・まつり in 飯坂」が、飯坂けんかまつりに併せて行われました。あいにくの小雨という天気の中、県内各地から留学生やALTなど総勢90人が集まりました。参加者は八幡神社でお祓いを受けたあと、神輿を担ぎ町内を練り歩きました。その後、穴原温泉の吉川屋で温泉に入り、冷えた身体を癒しました。参加者からは「日本の伝統文化を体験できてよかった」「神輿は意外と重かった」などの感想がありました。



▲神輿を担ぐ参加者たち

本宮市に「英国庭園」がオープン

福島復興を願い英国のウィリアム王子が訪れた公園内に、「英国庭園」がオープンしました。11月4日の開園式では、マデン駐日英国大使やレディ・ボリック元英国下院議員など多くの日英関係者が友好の懸け橋となる交流拠点の誕生を祝いました。チャールズ皇太子やウィリアム王子などからもメッセージが届き、会場は祝賀ムードに包まれました。



▲開園を祝いテープカットをする日英両国の来賓

チャールズ皇太子やウィリアム王子などからもメッセージが届き、会場は祝賀ムードに包まれました。

マレーシアの中学生が中島村へ

10月19日から5日間、マレーシアサバ州・イナムセカンダリースクールの中学生2名と校長先生、日本語教師の方が中島村を訪れ、着物の着付け体験やだるまの絵付け、リンゴ狩り、ホームステイ等を通じて村民との交流を深めました。中島中学校の「ききょう祭」では、ウェルカムセレモニーが行われ、生徒によるマレーシア修学旅行のスライドショーや箏の演奏を楽しみました。



▲イナムセカンダリースクールの皆さんと中島中学校の生徒

多言語による復興情報「ふくしま復興ステーション」

福島県公式復興関連情報ポータルサイト「ふくしま復興ステーション」では、福島県の復興状況の最新データや食の安全・安心に向けた取り組み、福島を応援する方々の活動などを9言語（日本語・英語・中国語・韓国語・ドイツ語・フランス語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語）でお知らせしています。

ふくしま復興ステーション <http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/>



FIA Information

○外国出身者のための生活相談窓口のご案内

当協会では、外国語で外国出身者からの生活相談に応じています。

●英語・中国語・日本語 毎週火曜日～土曜日
9:00～17:15

●韓国語・タガログ語・ポルトガル語 木曜日
10:00～14:00 ※第4・5木曜日は事前予約が必要

電話：024-524-1316(相談専用)

E-mail：ask@worldvillage.org (相談専用)

発行者

(公財) 福島県国際交流協会

〒960-8103 福島県福島市舟場町 2-1

福島県庁舟場町分館 2階

TEL 024-524-1315 FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

URL <http://www.worldvillage.org>

SNSにて随時情報発信中!

Facebook <https://www.facebook.com/fiainfo>

Twitter https://twitter.com/fia_info